



伊豆の国市立韮山中学校 学校だより

学校教育目標

「明日に希望を持つ今日を頑張る生徒」

重点目標

「かしこく考え やさしく押し たくましく生活する」

韮山だより

住所:伊豆の国市韮山韮山393

電話番号: 055-949-1061

令和2年7月31日発行

第20号

子供たちが主体的に学ぶ授業は充実感いっぱい!

伊豆の国市立韮山中学校長 手島雅恵

1学期も残すところ、数日になりました。6月から学校が再開され、子供たちの学校生活も密を避けることや手洗い・消毒と安全を意識していく中で、少しずつですが、これまでの授業スタイルを取り戻してきました。保健体育科ではマスクをはずして、生き生きと体を動かし、笑顔で友達とやりとりする明るい表情が見られます。そして、子供らしいエネルギーが感じられます。また、実習や実験、もの作り等では、五感を働かせて、人・もの・ことと向き合う真剣な姿があります。

さて、左写真はすべて理科の授業風景です。真ん中写真は3年生徒がトウモロコシの白い部分と黄色い部分を数えている場面です。「メンデルの実験を再現しよう」というテーマで授業が行われていました。グループでいくつかの素材を手分けして結果を導いていました。「A個とB個だったから、計算すると約3:1だね」と、友達と協同作業しながら話し合いを重ねていました。私は、子供たちのそうした様子に、ほっとさせられました。みんなで課題解決に向けて取り組み、伝え合うことは学校という場だからこそできるものだと思います。そのために「子供たちが主体的かつ意欲的に学べるような授業にしていこう」と、先生方は日々、教材を研究し、工夫した教具等を準備しながら授業を進めています。「今日も充実した一日だった」と子供たちが実感してくれるように、私たちは頑張らなければなりません。

今、コロナ禍にあってこれまでとは異なる制限がたくさんあり、子供たちの中には「思いっきり何かができない」ストレスと、喪失感もじわじわと心の中に溜まりつつあるのかもしれない。様々な学校行事や学年行事、部活動、そして授業でみんなと創り上げていく喜びを味わわせていく学校の存在価値を今一度考え実践につなげていきます。



実験に集中する姿は研究者を
思わせませぬ。

子供たちに実物の骨格を見せるために飯田先生は熱心に教材づくりをしました。

集中して聞く姿・じっくり考える姿に感心しました！



国語と英語の授業の一場面に子供たちの集中力の高さを感じる事ができました。左の写真は自分の考えをノートに丁寧にまとめている場面、それを発表している場面です。どの子のノートもきちんと書かれていますことに感心しました。右の写真は英語を聞き、その内容の質問に対して挙手し、ペアで英会話をしている場面です。一番感心したのは電子黒板の英語文と流れる音声をじっと聞いている3年生の空気感が受験生そのものでした。さすがです。



👍 技術家庭科で大根千切りに挑戦！ 👍

3年生が調理室で「大根の千切り」の実技テストを行っていました。子供たち一人一人が与えられた大根を、細くかつ形が整うようにと集中していました。大根と真剣に向き合う姿がホッとさせられました。家で普段から手伝っている子でしょうか、大人もびっくりするような包丁さばきでした。これからの時代は料理、掃除、洗濯等、何でも自分でできるようになっていないと困ることも出てきますね。いい場面を見ることができました。



環境委員会主催による「前期黙働清掃コンクール」が行われました。そして、その結果を受け、写真のように「黙働賞」「優秀賞」「優良賞」を表彰しました。葦山中の新たな伝統として「黙働清掃」を定着させていくために、一生懸命推進している環境委員会の取組は素晴らしいです。今後の葦中清掃がより楽しみですね。

前期黙働清掃で表彰しました！



保護者の方からのご意見・感想

()年()組() (生徒名)

※体罰やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。